

事業報告

平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における日本経済は、全体として緩やかな回復基調が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国の景気の下振れによる今後への不安が広がりました。1年を通して生産は高めの水準で横ばいの動き、雇用情勢は改善しているものの個人消費の伸びは鈍いのが特徴となりました。この中で観光・旅行業では、平成27年における訪日外客数が、年間1,974万人と2千万人に近づき、今年1月から3月までの3か月間で58万人と前年比40%の大幅な伸びとなっています。地域では中国、韓国、台湾などアジアを中心とした日本への旅行客の増加となりました。

このような状況の中で、当社は基幹事業であります展望事業について、平成27年7月から延べ159日間にわたって名古屋の夜景に魅力的な演出を施した「CITY LIGHT FANTASIA」を開催し、7万7千人の方々にご来場いただき高い評価をいただきました。また、昨年度導入しましたLEDによる新ライティング「煌」事業では、10月には「ピンクリボン」乳がん啓発、移植医療啓発、国連創設70周年、11月には「パープルリボン」DV撲滅、3月には「世界緑内障週間」、マラソンフェスティバルナゴヤ、ドラゴンズ80周年など積極的な活用を図り、栄地域からの情報発信に貢献してまいりました。一方、施設内の魅力向上を図るため、屋外のスカイバルコニーに人工芝を設置し、季節の花木を演出するなど地上100メートルにおける空中庭園の雰囲気を出しました。また、久屋大通発展会、市内観光施設やホテルとの連携強化をはじめインバウンドに向け近隣の店舗と新たに共催を図るなど積極的な営業活動を展開してまいりました。

平成16年度から検討を進めていますテレビ塔再生事業につきましては、名古屋市からの要請に基づき「栄地区グランドビジョン」の具体化計画づくりに全面的に協力するとともに耐震整備を含む再整備について専門企業などと計画の策定を急いでまいりました。

この結果、当期における有料入場者数は237,329人（前年に比べ7.9%増）、また、無料を含む総入場者数は325,462人（前年に比べ20.6%増）となりました。これにより、当期における売上高合計は229,319千円（前年に比べ9.1%増）、販売費及び一般管理費合計は211,607千円（前年に比べ3.6%増）となりました。したがって、営業利益は17,615千円（前年に比べ202.6%増）となり、当期純利益は10,480千円（前年に比べ80.0%増）となりました。

平成28年度は名古屋市から要請のある「栄地区まちづくりプロジェクトの推進」の事業への協力を進めるとともに耐震整備を含む再生事業計画を決定・実行する重要な年となります。つきましては、平成28年度には株主の皆様をはじめ、多くの企業、団体そして愛知県民、名古屋市民の皆様へ施設存続に向けた一層のご支援・ご協力をお願い申し上げる所存でございます。いよいよ会社存続の可否をかけた正念場にまいりました。役職員一同全力をあげる決意でございます。株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。